

雄略天皇 丹比高鷲原陵外構柵その他整備工事に伴う立会調査

はじめに

雄略天皇丹比高鷲原陵は、大阪府羽曳野市島泉8丁目に所在する。本陵は、古市古墳群の北西に位置し、その北東約1kmには藤井寺陵墓参考地が所在する。標記の外構柵の整備工事に伴う掘削では、いずれも近代盛土内の掘削であったため、ここでは、集水柵と集水管の設置に伴う掘削箇所の立会についての報告を行う。集水柵と集水管設置の目的は、界標11、12、13号によって平面三角形となっている場所が窪地で、雨が降る度そこに水が溜まり、時間が経過しても水が抜けないことから、そこから道路際の排水溝まで水が抜けるようにすることである。トレンチの設定は、界標11、12、13号によって平面三角形となっている場所を、第1トレンチから第7トレンチ、界標9号のすぐ北側、集水柵4の設置予定箇所を第8トレンチとした。トレンチの形状は、集水柵と集水管の掘形そのままである。陵墓課職員による立会調査は、平成23年1月11日から14日まで行ったが、それ以外の工事期間中は、古市陵墓監区事務所職員が随時立ち会った。

層 序

第1トレンチから第7トレンチにおける基本層序は、現表土（Ⅰ）、旧表土（Ⅱ）、地山（Ⅲ）の順である。

Ⅰ層 現表土。平成22年度工事時の盛土である。色調は灰黄褐色で、細粒砂から成る。

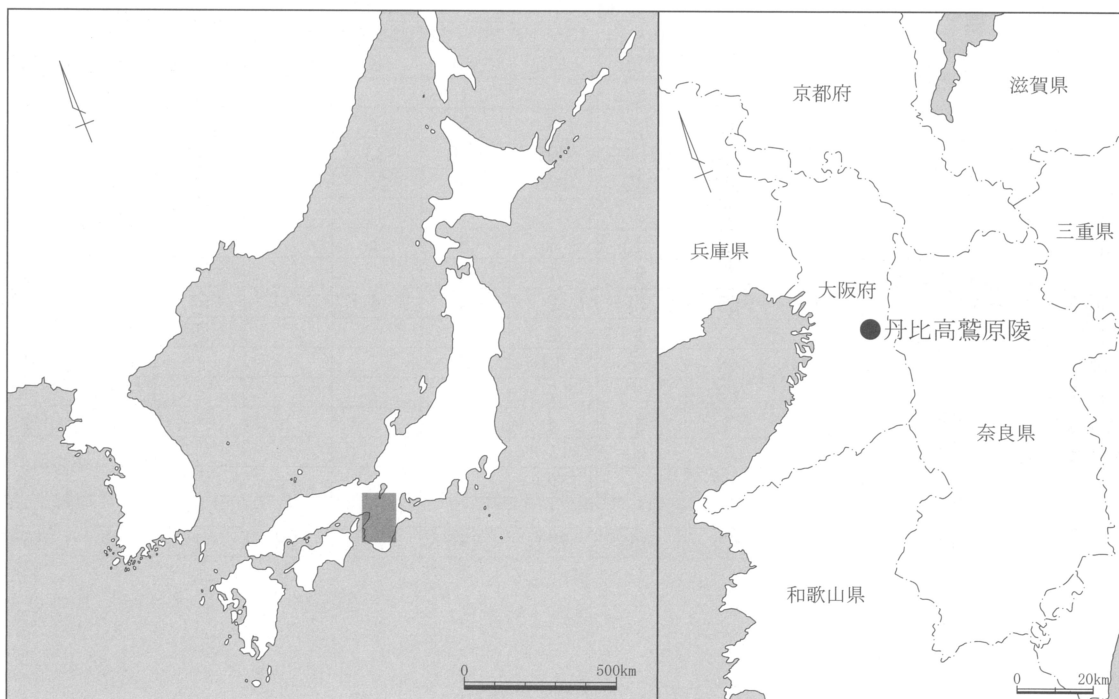
Ⅱ層 旧表土。平成22年度工事以前の表土である。色調は褐色から黒褐色で、極細粒砂から成る。蓮根の茎や根が混じることから、蓮根畑の耕作土が含まれることが分かる。

Ⅲ層 地山。調査地の基盤となる土層である。粗砂とシルトないし粘土が互層に堆積している。色調と粒径により、aからeまで細別できる。aは灰黄色からオリーブ灰色で、シルトから成る。bは黄褐色から赤褐色で、粗砂から成る。cは緑灰色からオリーブ灰色で、粘土とシルトから成る。dは灰黄色から赤褐色で、粗砂から成る。eはオリーブ灰色から赤褐色で、粘土とシルトから成る。

第8トレンチにおける基本層序は、表土（Ⅰ）、盛土（Ⅱ）、地山（Ⅲ）の順である。

Ⅰ層 表土。現表土である。色調は灰黄色で、細粒砂から成る。

Ⅱ層 盛土。遺物の出土は皆無であったが、間層が見られず、明らかに短期間に堆積したものであること



第32図 丹比高鷲原陵 概略位置図 (1/25,000,000、1/2,000,000)

から、盛土と判断した。色調と粒径により、aとbに細別できる。aは黄褐色で、細粒砂から成る。bは褐色で、細粒砂から成る。地山起源のシルトブロックが混じる。

Ⅲ層 地山。調査地の基盤となる土層である。色調は緑灰色からオリーブ灰色で、シルトから成る。

トレンチ

第1トレンチから第7トレンチの状況は、ほぼ同様である。表土下に地山が残るのみで、遺構および遺物は検出されなかった。3、4、6、7トレンチは地山のみであり、工事の関係からか表土も残っていなかった。現状の地山は、標高約22mで、ほぼ平坦であるが、第1トレンチの南端付近では、標高約22.8mまで上がっている。調査地は、一般的に平塚古墳と呼ばれる陵域内の方形墳丘部分を正方形に復元した際の南西角付近であるが、方形墳丘は低いところでも標高約23.5mあることから、約1.5mもの比高差から考えて、方形墳丘本来の部分は既に失われている可能性がある。

第8トレンチでは、表土下に盛土と地山が確認できたが、遺構および遺物は検出されなかった。表土下の盛土は、中央に盛り上がった地山を挟んで東西で異なるが、東西双方近代における整備時に周囲を平坦にするために盛られたものの可能性がある。特に、東側の盛土は、位置的に平成10年度の調査⁽¹⁾で検出した近代盛土との関係が考えられる。また、地山の形状については、第8トレンチが、陵域内の方形墳丘部分を正方形に復元した際の南東角付近であることから、方形墳丘に関わるものの可能性がある。

まとめ

今回の調査では、陵域内の方形墳丘との関係が考えられる地山の盛り上がりを検出した以外、遺構および遺物は確認されず、整備工事は予定どおり施工した。

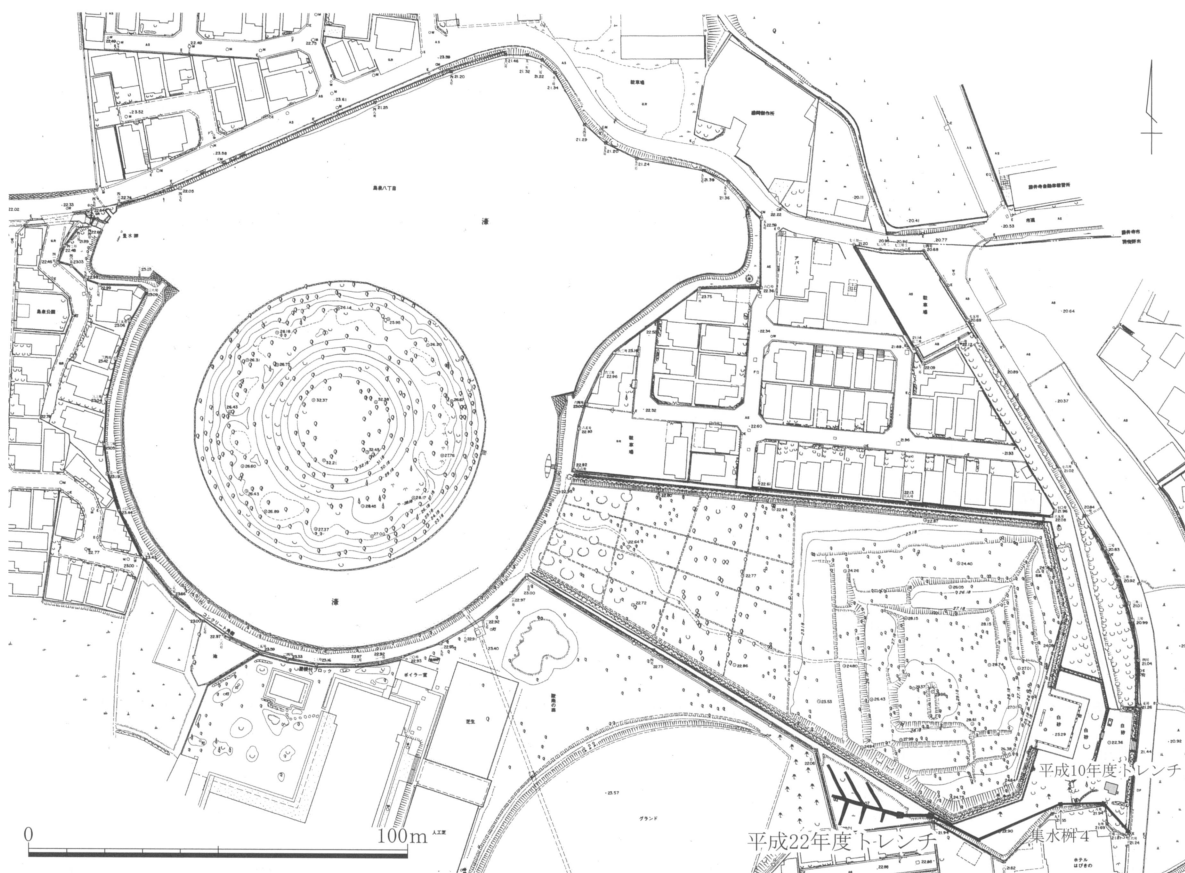
(横田真吾)

註

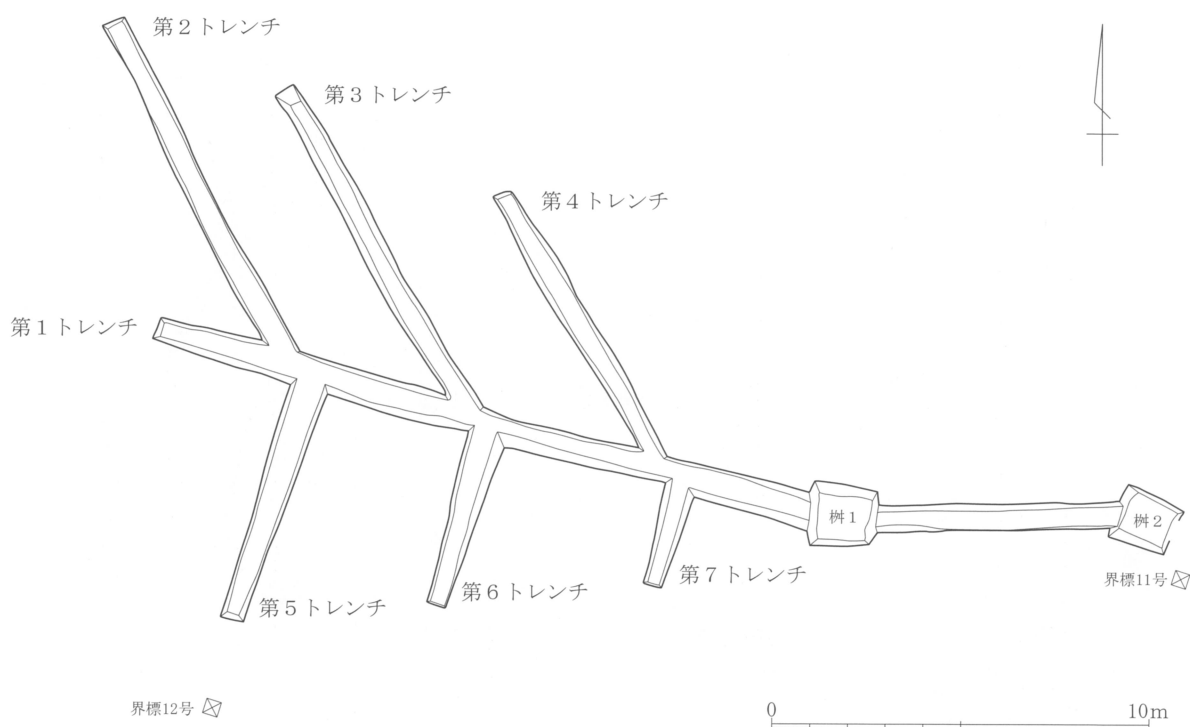
(1) 清喜裕二「雄略天皇 丹比高鷲原陵見張所改築工事箇所調査」『書陵部紀要』第51号、宮内庁書陵部、2000年。



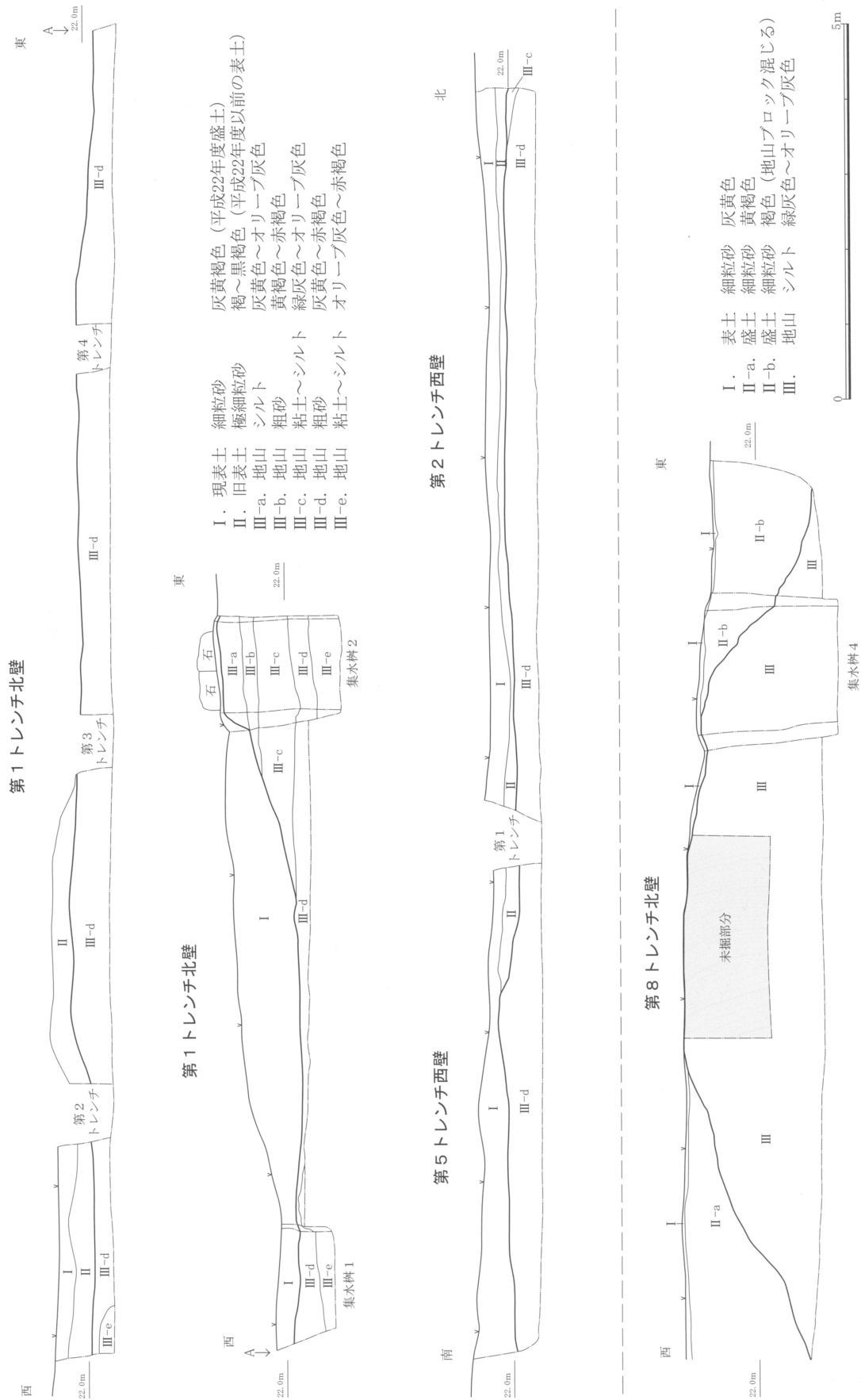
第33図 丹比高鷲原陵 詳細位置図 (1/20,000)



第34図 丹比高鷲原陵 地形図 (1/2,000)



第35図 丹比高鷲原陵 トレンチ平面図 (1/200)



第36図 丹比高鷲原陵 工事箇所土層断面図 (1/80)



1 第1～7トレンチ 掘削状況（東から）



2 第1～7トレンチ 掘削状況（北西から）



3 第5トレンチ 西壁（北から）



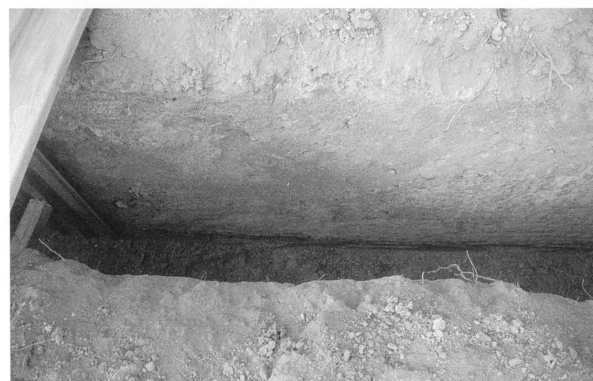
4 第2トレンチ 西壁（南から）



5 第1トレンチ 集水枡2 予定箇所（南から）



6 第8トレンチ 掘削前（東から）



7 第8トレンチ 北壁（地山が右に上がる）



8 第8トレンチ 集水枡4 予定箇所（南西から）